

埼玉県大学・短期大学図書館協議会 第28回総会議事録

日 時 : 平成27年6月2日(火) 14:00~15:10
場 所 : 駿河台大学 第二講義棟4階
出 席 : 23機関(35名)・委任状提出24機関
開会の辞 : 埼玉女子短期大学 湊伸子
開会挨拶 : 代表幹事館 文教大学越谷図書館館長 岸田直子
会場挨拶 : 駿河台大学メディアセンター センター長 大貫秀明
議長・書記選出 : 議長 国立女性教育会館 大澤正男
書記 文教大学 常盤哲平

議事に先立ち、出席及び委任状提出機関が加盟機関の過半数であり、総会の成立が確認された。また、参加者名簿及び平成27年度加盟館名簿の確認があり、出席者名簿について以下の通り訂正がされた。

(訂正前) 大正大学附属図書館 上田忠憲

(訂正後) 大正大学附属図書館 伊藤史織

議 事

1. 報告事項

(1) 平成26年度事業報告(説明者:文教大学 鈴木正紀)

資料「平成26年度事業報告」に基づき説明があった。引き続き、各事業の報告が以下の通り行われた。

① 第26回研修会報告(説明者:埼玉大学 小野寺伸)

資料「SALA第26回研修会報告」に基づき説明があった。

② Open Library Weeks 実施報告(説明者:城西大学 若生政江)

資料「Open Library Weeks 実施報告(城西大学)」「Open Library Weeks 実施報告(淑徳大学みずほ台図書館)」「Open Library Weeks 図書館見学実施報告」に基づき説明があった。

③ SALA 会報23号の発行(説明者:文教大学 鈴木正紀)

資料「SALA 会報第23号(2015年3月)刊行報告」に基づき説明があった。以下の点が補足説明された。

- 平成26年度の会報発行にかかる経費は150,000円ほどであったが、業者変更により100,000円を下回る金額になった。

④ 「図書館と県民のつどい埼玉2014」について(説明者:文教大学 鈴木正紀)

資料「「図書館と県民のつどい埼玉2014」報告」「「図書館と県民のつどい埼玉2014」ポスター」「「図書館と県民のつどい埼玉2014」記録集」に基づき説明があった。

⑤ 埼玉県地域共同リポジトリ SUCRA について(説明者:文教大学 鈴木正紀)

資料「埼玉県地域共同リポジトリ SUCRA について」に基づき説明があった。

⑥ 共通閲覧証利用調査報告(説明者:文教大学 鈴木正紀)

資料「平成26年度 SALA 共通閲覧証利用調査結果報告」に基づき説明があった。以下の点が補足説明された。

- 平成26年度の受付件数が103件となっており、平成24年度、平成25年度と比べると異常な伸びになっている。機関により集計方法が異なることが原因と考えられる。次年度以降、集計方法の統一と周知が必要と考えている。
- 掲示物の作成により利用件数が増えたという意見があった。平成27年度の実業計画として、共通閲覧証の利用促進を目的とした SALA 共通の掲示物を作

成することを考えている。

- ⑦ 共同購入事業成果報告（説明者：城西大学 若生政江）
資料「平成 26 年度 SALA 共同購入実態調査結果報告」「平成 27 年度 SALA 共同購入事業一覧」に基づき説明があった。

平成 26 年度事業報告に対しての質疑はなく、承認された。

2. 協議事項

- (1) 平成 26 年度会計報告（案）（説明者：聖学院大学 中山浩二）
資料「平成 26 年度決算報告（案）並びに会計監査報告（案）」に基づき説明があった。
- (2) 平成 26 年度監査報告（案）（説明者：埼玉学園大学・川口短期大学 関矢久美子）
会計監査の結果、適正に処理されていることを認める旨の説明があった。

平成 26 年度会計報告（案）および平成 26 年度監査報告（案）に対しての質疑はなく、承認された。

- (3) 会則の改正について（説明者：文教大学 鈴木正紀）
資料「会則の改正について（案）」に基づき、SALA 会則第 3 条、第 6 条 2 項、第 8 条 4 項、第 9 条 2 項～4 項改正（案）の説明があった。

以下の質疑があった。

（発言内容）

第 8 条 4 項の改正において、幹事館の補欠選挙についての文言を削除とあるが、図書館の委託化が進んでいる状況に鑑みると、幹事を継続できなくなる機関が発生する状況も考えられるのではないか。

（回答者：文教大学 鈴木正紀）

現状として、人員異動等の理由により幹事が図書館を離れる場合もあるが、機関として幹事館の任についており、同一機関の中から後任者が選出されている。また、現在は 14 館が幹事館を務めているが、幹事館の定数は定められておらず、仮に 14 館を下回る状態になったとしても問題はないと考えている。

会則の改正（案）について、賛成 21 機関、委任状 24 機関、計 45 機関の賛成により承認された。

- (4) 研修会等への参加資格について（説明者：文教大学 鈴木正紀）
資料「研修会等の参加資格に関する申し合わせ（案）」に基づき、研修会等の参加資格、Open Library Weeks 会場費、SALA 総会への参加資格についての申し合わせ（案）の説明があった。

以下の質疑があった。

（発言内容）

SALA 総会への参加資格（案）の(ア)に、SALA の総会への参加資格を有するものとして「SALA 加盟機関の図書館に勤務する専任教員及び正職員」とあるが、直接雇用の非常勤職員は含まれるか。

（回答者：文教大学 鈴木正紀）

直接雇用の非常勤職員も含む。

研修会等の参加資格に関する申し合わせ（案）について、賛成 22 機関、委任状 24 機関、計 46 機関の賛成により承認された。

Open Library Weeks 会場費に関する申し合わせ（案）について、賛成 23 機関、委任状 24 機関、計 47 機関の賛成により承認された。

SALA 総会への参加資格に関する申し合わせ（案）について、賛成 22 機関、委任状 24 機関、計 46 機関の賛成により承認された。

(5) 平成 27 年度事業計画（案）（説明者：文教大学 鈴木正紀）

資料「平成 27 年度事業計画（案）」に基づき説明があった。以下の点が補足説明された。

- ・ 「図書館と県民のつどい埼玉 2015」への協力について、ここ数年は桶川市民ホールで開催されていたが、今年度はさいたま市民会館うらわでの開催となり、大学図書館に割り当てられるスペースが狭くなることが見込まれる。後日開催される同イベントの企画委員会で詳細が説明される予定。
- ・ 共通閲覧証の利用実態調査において、利用促進のポスターを作成したことで共通閲覧証の利用が増えたという加盟機関があった。このことを受け、SALA 共通の広報用ポスターを作成したい。
- ・ SUCRA 参加機関において、順次 JAIRO Cloud への移行作業を行うが、JAIRO Cloud の中で地域共同リポジトリの形を維持している団体もある。その点についても、平成 27 年度に検討をしたい。

平成 27 年度事業報計画（案）に対しての質疑はなく、承認された。

(6) 平成 27 年度予算（案）（説明者：聖学院大学 中山浩二）

資料「平成 27 年度予算（案）」に基づき説明があった。以下の点が補足説明された。

- ・ 平成 26 年度からキハラ株式会社からのホームページへの広告料が入るようになったため、広告収入を 10,000 円増額する。
- ・ 事例報告者への謝礼金および交通費として、謝礼予算を 40,000 円増額する。

平成 27 年度予算（案）に対しての質疑はなく、承認された。

その他に協議事項の提案を求めたが、特に提案はなかった。

閉会の辞 埼玉女子短期大学 湊伸子

以上